

＜心臓＞臓器提供者（ドナー）適応基準

1. 以下の疾患又は状態を伴わないこととする。
 - （1）全身性の活動性感染症
 - （2）HIV 抗体、HTLV-1 抗体、HBs 抗原、HCV 抗体などが陽性
 - （3）クロイツフェルト・ヤコブ病及びその疑い
 - （4）悪性腫瘍（原発性脳腫瘍及び治癒したと考えられるものを除く。）

2. 以下の疾患又は状態を伴う場合には、移植の適応を慎重に検討する。
 - （1）心疾患の既往
 - （2）心電図、心エコー図などによる心疾患の所見
 - （3）大量のカテコラミン剤の使用
（例：ドパミン 10 μ g/kg/min にても血行動態の維持が困難な場合）
 - （4）HBc 抗体陽性

3. 年齢：50 歳以下が望ましい。

付記 上記の基準は適宜見直されること。

＜肺＞臓器提供者（ドナー）適応基準

1. 以下の疾患又は状態を伴わないこととする。
 - （１）全身性の活動性感染症
 - （２）HIV 抗体、HTLV-1 抗体、HBs 抗原、HCV 抗体などが陽性
 - （３）クロイツフェルト・ヤコブ病及びその疑い
 - （４）悪性腫瘍（原発性脳腫瘍及び治癒したと考えられるものを除く。）
2. 以下の疾患又は状態を伴う場合には、移植の適応を慎重に検討する。
 - （１）呼吸器疾患又はその既往
 - （２）HBc 抗体陽性
3. 肺の機能が良好であることが望ましい。
 - （１）肺コンプライアンスが保たれている（注１）
 - （２）肺の酸素化能が維持されている（注２）
4. 年齢：70 歳以下が望ましい。

注１：最大気道内圧＜30 cm H₂O

（１回換気量 15ml/kg, PEEP=5 cm H₂O の条件下）

注２：PaO₂>300Torr（FI0₂=1.0, PEEP=5 cm H₂O の条件下）

又は

PaO₂/FI0₂>250～300Torr（PEEP=5 cm H₂O の条件下）

付記 上記の基準は適宜見直されること。

＜心肺同時＞臓器提供者（ドナー）適応基準

1. 以下の疾患又は状態を伴わないこととする。
 - （1）全身性の活動性感染症
 - （2）HIV 抗体、HTLV-1 抗体、HBs 抗原、HCV 抗体などが陽性
 - （3）クロイツフェルト・ヤコブ病及びその疑い
 - （4）悪性腫瘍（原発性脳腫瘍及び治癒したと考えられるものを除く。）
2. 以下の疾患又は状態を伴う場合には、移植の適応を慎重に検討する。
 - （1）心疾患の既往
 - （2）心電図、心エコー図などによる心疾患の所見
 - （3）大量のカテコラミン剤の使用
(例：ドパミン $10 \mu\text{g/kg/min}$ にても血行動態の維持が困難な場合)
 - （4）呼吸器疾患又はその既往
 - （5）HBc 抗体陽性
3. 臨床的に肺疾患が存在する場合には、移植の適応を慎重に検討する。
4. 肺の機能が良好であることが望ましい。
 - （1）肺コンプライアンスが保たれている（注1）
 - （2）肺の酸素化能が維持されている（注2）
5. 年齢：50 歳以下が望ましい。

注1：最大気道内圧 $<30 \text{ cm H}_2\text{O}$

（1 回換気量 15ml/kg , PEEP= $5\text{cmH}_2\text{O}$ の条件下）

注2： $\text{PaO}_2 > 300\text{Torr}$ ($\text{FIO}_2=1.0$, PEEP= $5\text{cmH}_2\text{O}$ の条件下)

又は

$\text{PaO}_2/\text{FIO}_2 > 250 \sim 300\text{Torr}$ (PEEP= $5\text{cmH}_2\text{O}$ の条件下)

付記 上記の基準は適宜見直されること。

＜肝臓＞臓器提供者（ドナー）適応基準

1. 以下の疾患又は状態を伴わないこととする。

- （１）全身性の活動性感染症
- （２）HIV 抗体、HTLV-1 抗体、HBs 抗原などが陽性
- （３）クロイツフェルト・ヤコブ病及びその疑い
- （４）悪性腫瘍（原発性脳腫瘍及び治癒したと考えられるものを除く。）

2. 以下の疾患又は状態を伴う場合は、慎重に適応を決定する。

- （１）病理組織学的な肝臓の異常
- （２）生化学的肝機能検査の異常
- （３）腹部、消化管手術及び細菌感染を伴う腹部外傷
- （４）胆道系手術の既往
- （５）長期の低酸素血症
- （６）高度の高血圧
- （７）長期の低血圧
- （８）HCV 抗体陽性
- （９）HBc 抗体陽性
- （１０）先天性の代謝性肝疾患の保有の可能性のある者
- （１１）重度糖尿病、過度の肥満、重症熱傷その他の重度の全身性疾患

備考）摘出されたドナー肝については、移植前に肉眼的、組織学的に観察し、最終的に適応を検討することが望ましい（移植担当医の判断に委ねる）。

付記 上記の基準は適宜見直されること。

＜腎臓＞臓器提供者（ドナー）適応基準

1. 以下の疾患又は状態を伴わないこととする。
 - （1）全身性の活動性感染症
 - （2）HIV 抗体、HTLV-1 抗体、HBs 抗原などが陽性
 - （3）クロイツフェルト・ヤコブ病及びその疑い
 - （4）悪性腫瘍（原発性脳腫瘍及び治癒したと考えられるものを除く。）
2. 以下の疾患又は状態が存在する場合は、慎重に適応を決定する。
 - （1）血液生化学、尿所見等による器質的腎疾患の存在
 - （2）HCV 抗体陽性
 - （3）HBc 抗体陽性
3. 年齢：70 歳以下が望ましい。

付記：上記の基準は適宜見直されること。

＜膵臓＞臓器提供者（ドナー）適応基準（脳死下）

1. 以下の疾患又は状態を伴わないこととする。

- （1）全身性の活動性感染症
- （2）HIV 抗体、HTLV-1 抗体、HBs 抗原、HCV 抗体などが陽性
- （3）クロイツフェルト・ヤコブ病及びその疑い
- （4）悪性腫瘍（原発性脳腫瘍及び治癒したと考えられるものを除く。）

2. 以下の疾患又は状態を伴う場合には、移植の適応を慎重に検討する。

- （1）細菌感染を伴う腹部外傷
- （2）膵の機能的又は器質的障害
- （3）糖尿病の既往
- （4）HBc 抗体陽性

3. 年齢：60 歳以下が望ましい。

付記：上記の基準は適宜見直されること。

＜脾臓＞臓器提供者（ドナー）適応基準（心停止下）

1. 以下の疾患又は状態を伴わないこととする。

- （１）全身性の活動性感染症
- （２）HIV 抗体、HTLV-1 抗体、HBs 抗原、HCV 抗体などが陽性
- （３）クロイツフェルト・ヤコブ病及びその疑い
- （４）悪性腫瘍（原発性脳腫瘍及び治癒したと考えられるものを除く。）

2. 以下の疾患又は状態を伴う場合には、移植の適応を慎重に検討する。

- （１）細菌感染を伴う腹部外傷
- （２）脾の機能的又は器質的障害
- （３）糖尿病の既往
- （４）一過性の心停止
- （５）低血圧
- （６）低酸素血症
- （７）無尿
- （８）高 Na 血症
- （９）ノルアドレナリンや 15 μ g/kg/分以上のドーパミンの投与
- （10）脾機能、肝機能の異常値
- （11）HBc 抗体陽性

3. 年齢：60 歳以下が望ましい。

付記 上記の基準は適宜見直されること。

＜小腸＞臓器提供者（ドナー）適応基準

1. 以下の疾患又は状態を伴わないこととする。

- （1）全身性の活動性感染症
- （2）HIV 抗体、HTLV-1 抗体、HBs 抗原などが陽性
- （3）クロイツフェルト・ヤコブ病及びその疑い
- （4）悪性腫瘍（原発性脳腫瘍及び治癒したと考えられるものを除く。）

2. 以下の疾患又は状態が存在する場合は、慎重に適応を決定する。

- （1）小腸疾患又はその既往
- （2）細菌感染を伴う腹部外傷
- （3）HCV 抗体陽性
- （4）HBc 抗体陽性

3. 年齢：60 歳以下が望ましい。

付記 上記の基準は適宜見直されること